

## Campus Tour

先月から、OPEN DAYやCampus Tourが各キャンパスで開催されています。来年2月にTAFE本科に入学する学生は、9月末までに進路を決定する必要がありますので、それぞれ情報収集に努めています。

### Ultimo

シドニー市街地に位置するUltimoキャンパスのキャンパスツアーは、コース毎に数回に分けて行われ、多くの学生が参加しました。



↑ 授業終了後、電車で向かいました。

### Ryde

GCAオフィスから徒歩約25分の場所に位置するRydeキャンパスでは、主にホスピタリティとツーリズムを見学しました。



↑ 7月から同キャンパス  
↑ ホスピタリティの実技の授業で使ったホスピタリティを学ぶ  
用するレストランを見学しました。 兵倉桃花に会いました。

### Wollongong

シドニーから南に電車で約1時間半の場所に位置するNSW州第3の都市です。



### Nirimba

シドニーから北西に電車で約1時間の場所に位置し、自然に囲まれています。



### Northern Beaches

シドニーからバスで約40分で、名前の通り近くにはビーチがあります。



### St Leonards

電車でもバスでも通える便利な立地で、映像やゲームのコースが有名です。



## TAFE本科便り

前号に続き、7月にTAFE本科へ進学した12期生の様子をご紹介します。



山崎 美波

Diploma of Event Management  
TAFE Queensland

### <コースについて>

クラスメートの多くがオーストラリア人で、アジアやヨーロッパからの留学生が数名います。年齢層は18歳から30歳くらいまでで、女性が大半を占めています。今学期は座学が8割以上で、イベントで起こりうるリスクを予想してそれにどのように対応

※イベントで着用したコスチューム姿

するかや、イベント参加者への対応方法を学んだりしています。実技の授業では、実際にイベントにボランティアで参加したりすることもあり、とても楽しいです。

### <ブリスベンについて>

シドニーと比べると、遊べる場所や観光地は少ないです。また私が想像していたよりも、日本人は多かったです。でも、気候がとても穏やかで暖かいので、寒さが苦手な私にとっては、過ごしやすいです。落ち着いて勉強に集中できるので、ブリスベンに来て良かったと思っています。

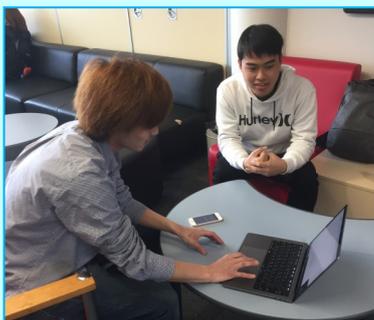
### <TELCIにいる間にやっておくべきこと>

EAPで学んだレポートの書き方は、TAFEの授業でとても役に立っているので、1セッションでもEAPを受講することをお勧めします。

## 進路模索

学生たちはGCAの先輩からコースについて話を聞いたり、SSOに相談したり、自分でインターネットで調べたりして、9月末までの進路決定に備えています。

### 先輩との交流



↑プログラミングコースについて、9期生の五十嵐陽から話を聞く学生



↑8期生の平松伶也からはTAFE本科および西シドニー大学でのビジネスについて、同じく8期生の藤井安宅からは主にNSW大学について、話を聞きました。



↑ホスピタリティや、ホテルの受付業務経験について9期生の細川瑠乃から話を聞く学生たち

### SSOに相談



複数のコースやキャンパスで迷っている学生たちは、SSOのアドバイスを聞いて、進路選択の判断材料にしています。



### 情報収集



GCAオフィスのノートパソコンを使って希望キャンパスやコース詳細を調べ、進路最終決定確認票を記入します。



## 12期生便り



菅野 仁美

埼玉県立  
伊奈学園総合高等学校  
(埼玉県)

TELCでの勉強も、既に折り返し地点を過ぎました。これまでたくさんを経験し、様々なことを考えさせられる毎日を過ごしてきました。初めての留学で、渡航当初はGCAの仲間と比べて、英語力が劣っていること、学習習慣が身につけていないことを後悔していました。しかし、GCAの先輩の経験談を聞いて参考にさせられたり、自分の性格を肯定することで、徐々に理想の留学生活を送ることができています。未だに英語力のことで悩んだり、思うように



戸松 杏偉

私立  
愛知黎明高等学校  
(愛知県)

オーストラリアに来て約5ヶ月が経ちました。環境にも慣れ、すごく充実した毎日を送れています。渡航後は環境が大きく変わり、驚いたことがたくさんありますが、良いことも悪いことも、全てが貴重な経験で毎日が新鮮です。特に驚いたことは、現地の人がとてもフレンドリーで、バーや学校など、年齢差関係なく知らない人でも気さくに話しかけてくれて、すぐ仲良くなれるところです。しかし、言語の壁もあり、言いたいことがなかなか伝わらないこともあり、

現地の人とのコミュニティを広げられず、苦戦していることもあります。自分自身と向き合う機会ができたことを嬉しく思います。今はやりたいことは決まっていますが、今後のオーストラリアでの約4年間の留学生活で、将来の夢を確立するつもりです。興味のあることは全て挑戦し、視野を広げたいです。GCAの仲間は、私に多くの影響を与えてくれる存在です。各自がきちんと夢や自分の信念を持っているので、より一層刺激を受けます。これからどんな困難があっても、お互いに切磋琢磨しあえる仲間がいることは私にとっては大きなことです。今後も自分がオーストラリアに来た意味をよく考えて行動し、努力します。

落ち込み、立ち直れない時も多々あります。それでも現地の人は優しく聞き直してくれたり、自分の英語を直してくれたり、とても親切に対応してくれます。また、TELCの勉強はとても大変ですが、GCAのスタッフが細かいところまでサポートしてくださり、自分のわからないところがあるとプリントを用意してくれたりなどと協力して頂いてお陰で、何とか授業についていけてます。あとは、他国からの留学生と友だちになりお互いの文化を共有し合うことができるので、英語以外にも学べるものがあり、とても充実しています。TELCの残りのテストで確実に合格して進級し、12月にTELCを卒業するのが今の目標です。